

会 議 録

会議名称	タウンミーティング (上田出・中野・三日町)	記録者	学校教育課 課長補佐
日 時	平成29年9月14日(木) 午後7時～午後9時02分		
場 所	上田出集落センター		
出席者	<p>町 : 町長、副町長、教育長、総務課長、財政課長、企画振興課長、健康福祉課長、地域整備課長、学校教育課長、危機管理室長 税務課長</p> <p>区長会 : 上田出区長、中野区長、三日町区長</p> <p>町 議 : 林議員</p> <p>住 民 : 19人</p>		
会議内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 町長あいさつ 3 出席者紹介・開催趣旨説明(総務課長) 4 町政報告(財政課長、企画振興課長) 5 意見交換 <ul style="list-style-type: none"> ・小学校・保育所統廃合について(学校教育課長・健康福祉課長) ・下水道使用料について(地域整備課長) ・地区等からの要望等 6 フリートーク 7 閉会 		

会議結果

【小学校・保育所について】

●質問

去年は保育所・小学校の統廃合を行うということだったが、新町長の公約で統廃合は延長となったと理解している。町民に対し、今後の具体的な計画案の提案がなされていないのはなぜか。

○回答（町長）

もったもである。具体的に示さないのは不本意かもしれないが、前回は役場で決めすぎて説明が足りなかったと思っている。そのため、広く意見を聴く機会があると思ってこのような場を設けている。

●質問

そんなに余裕はないのではないか。早急に執行部としてこうやっていきたいと町民に提案すべきではないか。町民からの意見を聴いていたのでは、話がまとまらないと思うがいかがか。

○回答（町長）

方針は出してないが、こういったデータを提供しているので皆さんにも一緒に考えていただきたい。

●質問

そのようなペースでやっているのと、すぐに計画ができないのでは。

○回答（町長）

決断を長く伸ばすつもりはない。志賀町も大規模な統合を行ったが丁寧に時間をかけて行っていた。意見として承った。

◆意見

宝達小学校に子どもが通学している。小規模校だが、縦割りで十分満足し、安心して子供を預けている。ぜひ、デメリットを緩和する方向で考えてほしい。経費の面だけで統合を決めてほしくない。

○回答（町長）

保護者の意見には、早く統合してほしいという意見もある。保護者の負担が大きいといった意見もあり、両方の意見があるので、もう少し聴いてから決めたい。子供達を守っていこうという地域の思いが強い所は残していかなければならないかと思っている。

●質問

基本的には、やめるのか延期するのか。

○回答（町長）

この間までの計画は、延期である。

●質問

先延ばしするメリットは何か。それは、いつまでか。先延ばしにすると、それだけ町の財政も悪化していると思われるが。今の段階でなぜやれないのか。2年後が10年後になるのは何が違うのか。せっか

くするのなら、早くした方がいい。

○回答（町長）

急に子どもが少なくなることは考えにくい。40年先に延長することは考えていない。そういった意見もあるだろうが、もう少し、幅広く意見を聴いていきたい。ていねいな説明も必要だと思っている。

●質問

統合案は以前の議会で通ったと聞いている。町長は、その時議員として賛成したとも聞いているが。統廃合は、誰の一存で決まったのか。

○回答（町長）

議会では、統廃合をするための設備の一部を更新する予算について賛成したもので、統廃合そのものを議論し決定たわけではない。

○回答（副町長）

平成26年度に国立社会保障・人口問題研究所が全国で子どもの数が減少すると発表された。そういった危機感から、町では平成27年度に学校配置のあり方について検討してみようと、委員会を設けてその中で議論した結果、出来るだけ複式学級は避けるという文科省と同じような指針が出た。それを受けて、昨年保護者や地域の方にどのような統廃合がいいのか検討してもらおうと説明を行ったものである。いろいろな意見があった。その後、町長選挙があり寶達町長が当選し、昨年の説明会では議論の時間が少なかったということで、このようなタウンミーティングを行っているものである。子どもの減少は変わらないので、財政事情等を総合的に勘案し、他の地区でも意見をうかがっていきたい。

◆意見

思い切って中学校のそばに、保育所、小学校を1つに集めればどうか。そうすれば、バスの台数も少なくて済む。上級生が小さい子供の面倒も見ることができる。

○回答（副町長）

そうなると、学校の規模も大きくなる。そうなると、別の課題も出て来るがそういった案もあるということで理解した。

○回答（町長）

相見小学校も古いので、そういった考えもある。

●質問

子どもは現在保育所に通っているが、小学校に上がる時に通わせたい小学校を選択できるのか。

○回答（学校教育課長）

通常は、住んでいる場所で学校区域が決められている。どうしてもという正当な理由があれば、検討することがある。

●質問

教員の給料は、県が出していると言っていたが、町は負担していないのか。

○回答（学校教育課長）

教員試験は、県が行い採用する。それを各市町に割り振ることとなっている。ただし、学校の用務員、特別支援教育支援員等教員の補助をしてくれる方は町が採用している。

【下水道について】

◆意見

この資料を見れば、下水道料金を下げるのは不可能でないか。一般会計から補てんすると、サービスが悪くなる。それなら利用者が負担し、適正価格まで近づけるのが当たり前だと思う。今まで値上げしなかったことがおかしいと思う。執行部がきちんと計算し、徐々に上げていけばこんな問題にならなかったのではないか。そのため、下げる必要はないと思うが。

○回答（町長）

この資料を見れば、そういった意見もあると思われる。一方で、所得の低い方の負担は大きくなっている。そのため、減免措置を取っているがそれに該当しない方もいる。減免の幅を広げたいと思っている。

また、もう少し住みよい環境にしたいと考えている。定住を促す時に、アピールできるところ、デメリットと捉えられない所を増やしていきたい。そのため、難しいと思うが少しは下げたい。3年毎に見直しをかけるが、安定的に運営できるような形にしていきたい。

●質問

今下げれば、利息や諸々でトータル的に余計に負担することになるのではないか。

○回答（町長）

そういった面もあるかもしれないが、下水道料金が住みよい町かどうかを考える材料になる。ある新聞で、当町での着工（家を建てる）がものすごく少ないと出ていた。月に1～2件で、県下でも下の方であった時、なんとか増やしたい。どうすれば魅力ある町と感じてもらえるかといった時に、少しでも下げておきたい。子育てする方も負担が大きいと思われるので、配慮していきたい。

◆意見

定住人口を増やしたいとのことだが、聞いたところでは町営住宅に入所していた方が、母子家庭だったため今まで家賃が2万円台だったが、子どもが社会人になり働くことになったため、家賃が6万円台になったと。子どもが働きだし、所得が増えたため家賃が上がるのはわかるが、経費も多くかかる。そのため、その方は他市町へ転出した。

例えば、空き家を紹介するなど、そういった所の対策を考えるべきではないか。これは、ひとつの例だと思うが。

○回答（町長）

そういったケースが出ないよう、何か方策を考えたいと思う。

◆意見

町の中長期計画に基づき町民に説明すべきではないか。町民が知らない中長期計画では意味がないように思う。人口減少も10年前に町民に知らせて対策を講じるべきだった。答えが決まってからみんなに知らせても仕方がない。下水道にしても、設備が老朽化する。人口が減る。当然、受益者負担が増える。企業が撤退していけば税収入も減っていく。そこへ病院等を建てることで借金が増える。一方、近くに羽咋病院があり広域圏の負担金を出している。本当に病院がいったのか。町民のためになっているのか。今後、どうするのか。新町長が誕生したこともあり、執行部みんなで知恵を出し合い、具体的に提案し、町民に話をしてほしい。10年前にこれだけの人口減少があるとわかっていれば、それぞれが親戚の者に町に来て定住してくれと、こんなメリットがあるから来てくださいと言っていけば、人口がここまで減少しなかった。メリットを上げ、町に来て下さいと言えば減少は押えられると思う。企業にとっても、町の資産を無料で使ってもらう。また、金沢まで車で30分。ベッドタウンとしてかほく市に負けないようPRすればいいと思う。世の中の風に敏感になり、大胆に改革するこれを町の皆さんが考えてやってほしい。

○回答（町長）

そのとおりで、もっと魅力のある町にしていかなければならないと思っている。家が建たないということは、ここでの生活が選択肢に入っていない。これをなんとか変えたいと思っている。一方で、現在の施策（宝たち成長祝い金等）が本当に効いているのか気になっている。もっとアイデアがあれば、みなさんから出してほしい。

【空き家の対策について】

◎要望

管理者が不明の空き家について、防犯・防災の観点からも入口の閉鎖等、対策をしてほしい。

○回答（危機管理室長）

昨今、少子高齢化や人口の減少など社会構造の変化により、「空き家」が増加していることが全国的に問題となっており、宝達志水町も例外でない。空き家の管理については、所有者や相続された方等が管理をしていただくことを基本としている。空き家が老朽化等で危険な場合

は、町が所有者等に対し適正に管理していただくよう助言・指導等を文章で通知し管理の指導を行っていく。

【上田出会館改修について】

◎要望

町内でも古い方になっており、老朽化が進んでいる。町民の高齢化が進み、トイレなどの段差でつまずきなど、多々あり早急に改修とバリアフリー化を願う。

○回答（企画振興課長）

上田出会館は、築40年以上が経過しており、老朽化による損傷状況は確認している。最近、各集落から建物の老朽化による修繕要望及び高齢化によるバリアフリー化の改修要望が増加している。その中で、利用者の安全性、利便性及び快適性の確保に努めるため、損傷度、緊急度を総合的に勘案し、優先順位を設け要望に応じていきたいと考えている。

【コミュニティバス運行について】

●質問

平成29年度からルート変更になったが、上田出からの要望についての回答がほしい。（出村経由をお願いしていたが。）

□回答（企画振興課長）

コミュニティバスは平成28年4月に本格運行を始めたが、平成29年5月の宝達志水病院開院にあわせ、すべての路線で病院乗り入れを実現するルート変更を実施した。この際、前年度の利用状況等から、追加するバス停はなく、廃止したバス停は、アステラスの1件のみだった。バス路線は、広域的に主要な地域を幹線道路網でつなぐこととし、宝達地区については、県道宝達今浜線から主要地方道押水福岡線のルート設定となっているのでご理解願いたい。なお、バス運行ルートは、利用状況等を基に、地域交通会議において見直しを図り、より利用しやすいものとなるよう努めていく。

【旧農業短期大学跡地について】

●質問

若者定住に向けて、家を建てる、土地分譲を又は、皆が集まる公園の整備など考えているのか。

□回答（企画振興課長）

旧農業短大及び放牧場用地の再利用については、県と民間等からの利用意向の有無を定期的に確認している状況である。現在、跡地利用については、県にも確認したが未定であった。両用地とも良い土地で

あるが、県、町も財政面等から単独での公共施設としての活用は難しいと考えている。今後も、町としては、地域振興に資する事業計画があれば、利用目的、地元の意向等を勘案して、進めていきたいと考えている。また、用地については、県有地であり、県において引き続き草刈り等の管理を実施していくとのことなので、ご理解願いたい。

【大坪川堆積除去について】

●質問

大坪川堆積除去について

□回答（地域整備課長）

町内の河川においては、いずれも堆積土砂や雑木が生えるなど、川の流れを阻害しており、二級河川を管理する石川県へも改善の要望をしているところである。県においては、過去の浸水状況や土砂の堆積状況を考慮しながら実施しているが、限られた予算の中で、全ての河川において適正な管理が行われていない状況である。町内各河川でも同様な状況となっており、各地区からも改善の要望が多数寄せられていることから、引き続き、石川県や関係機関へ要望をしている。

【その他】

●質問

財政が厳しいと言いながら、一定年齢の子どもにお金を出すのはなぜか。苦しくても親が育てるのは当たり前である。芝政跡地はどうなっているのか。少しでも借金をしないことで財政運営してほしい。

○回答（町長）

少しでも定住してもらえるよう、子どものために使ってほしいとはじめたことである。検討していかなければとも思っている。例えば、定住人口を増やす時に、子どもの小さい方たちに手厚くする、生まれた時に手厚くするなどやり方を考えたい。

●質問

当町は、海、山、川とそろっている。もっとPRし人が集まる町に出来ないか。大坪川、小さい時は入れたが、現在は荒れて入れない。なんとか入れる状態にならないか。

○回答（町長）

川の事は、県に強く要望していかなければと思っている。

◆意見

学校を特色あるものにしてほしい。例えば勝山にある自然教育に力を入れている学校があり、全国から関心が集まっている。食物アレルギーの子どもに対応した給食を提供するなどすれば、全国から子どもも集まるのではないか。今ある学校を大切にしながら、特色を出しア

ピールすればどうか。

○回答(町長)

学校を残す、残さないの検討をしている。特色ある学校というのも難しい。今日、宝達山へ行くと宝達小学校の子ども達がアサギマダラのマーキングを行っていた。素晴らしいと思うが、それ以上のことを教育現場で考えてやれと言っても、先生方に負担がかかり難しい。何か考えていきたいと思っている。

◆意見

複式学級となるのは駄目なのか。子どもが5, 6人になるとへき地になり、なくなってしまうのか。

○回答(町長)

宝達小学校は、そこまでの現象ではない。学校を残すとなれば、その地域の皆さんが「学校を守っていくのでのこしてほしい。」という強い思いがいていると思っている。皆さんが、そういった強い熱意がどこまであるのかにかかっている。